

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890300126
法人名	有限会社ケアサポートさくら
事業所名	グループホームしおり(風)
所在地	愛媛県宇和島市丸穂甲937-15
自己評価作成日	平成27年10月9日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成27年10月26日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

お一人一人の思いに添うことができるよう、またできることを続けて頂けるよう心がけている。レクリエーションや体操、外出の機会を持つことで、刺激のある生活とご利用者同士の交流に努めている。広々とした庭と宇和島を一望できる景色、小学校や保育園児の声や姿が見え、交流が図れる。  
デッキでつないだ隣接ホームとの交流ができる。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

日々の中で、利用者から買い物や外出の希望があれば、その時々支援している。利用者は希望を言うことができるよう、日中は、職員の人員を増やして対応している。おやつの中には、飲み物を選んでもらえるような場面を作っている。  
1階ユニットでは、テーブルごと、又全体でいろいろな内容を話題にしておしゃべりしながら食事をしていた。2階ユニットでは、新たに、野菜や料理のカードを使って食事を楽しみにできるような取り組みを行っている。調査訪問時には、昼食前に、利用者と職員でカードの中からメニューや食材の絵を選んでホワイトボードに貼り、日付とメニューを書いていた。メニューを書くのは利用者の役目になっている。さらに、食事には、デザートを付けて特別感を味わえるよう工夫しており、利用者からは食事について「おいしい」と感想が出るようになったようだ。  
敬老会の機会を捉えて、ご家族にお願いして利用者宛てに手紙を書いてもらった。利用者によっては職員が読んで差し上げると、涙を流して喜んだような方もあったようだ。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームしおり

(ユニット名) 風

記入者(管理者)

氏名 渡部和美

評価完了日 平成27年 10月 13日

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 年に1度介護理念を職員で相談して作成し、常にリビングに掲示して確認できるようにしている。 職員が共有し、実践するよう努めている。	
			(外部評価) 事業所の理念を「共に生きる」と掲げて、事業所便りのタイトルにもしている。又、ユニット理念は、前年度から継続してそれぞれに「支え合う 心を大切に一致団結」「皆が一番 特別と思える時間があるよう関わる」と掲げ、各事務室に掲示して共有を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 自治会に入り、地域の行事ごとには積極的に参加したり、ホームの行事のご案内をしている。 高齢者サロンや保育園、小学校との交流は定期的に行っている。 近隣の八百屋、肉屋、魚屋の来訪が定期的であり、馴染みになっている。	
			(外部評価) 地域や近くの保育園、小学校の運動会に参加して、利用者もパン食い競争等に出場して楽しんでいる。保育園の先生から「利用者の方が走る姿におどろいた」等と感想があり、そのことがきっかけで保育園のお遊戯会へ誘ってもらい、今年利用者が日頃から練習している詩吟等を披露する予定になっている。又、保育園児は、散歩途中で事業所に立ち寄ってくれて、利用者に歌を聞かせてくれたり、一緒に歌ったりしている。	
3		○事業所の方を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 認知症の方と介護されている家族さん等、悩みを相談し話し合える機会がある。 広報を近隣の方や地域に配布し、ホームでの暮らしを伝えることで理解して頂いている。 認知症カフェ「笑みちゃんカフェ」を開催しており、地域の方やケアマネジャーの参加が時にはみられるようになった。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><b>(自己評価)</b> 2ヶ月に1回開催し、事業所の取組みやサービス状況を報告するとともに、課題や今後の取組みについて意見交換し、サービス向上に活かしている。 ご意見に対しては早期に対応し、サービス向上に活かしている。</p> <p><b>(外部評価)</b> 隣接の系列グループホームと合同で会議を行っている。8月の会議から、宇和島市の会議実施報告書書式項目に沿って事故報告等も行うようになり、会議に参加している元利用者のご家族から「より具体的にホームのことが分かるようになった」という感想があった。市内グループホーム管理者の参加もあり、事業所で困っていること等を話すと、各事業所の取組みや事例等を聞かせてくれる。2月の会議時には、一年間の行事をスライドショーにして見てもらっている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p><b>(自己評価)</b> 市の研修や会議には参加している。 担当職員との連絡や連携は取り合っている。 運営推進会議では貴重な意見をいただいている。</p> <p><b>(外部評価)</b> 今年7月から介護相談員を受け入れている。同じ人が来てお話ししながら、利用者との関係を作っているところである。愛媛県地域密着型サービス協会主催の相互研修で、事業所で他事業所職員が研修を行った際には「利用者本人が決められるような場面が多くて良い」と感想があったようだ。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p><b>(自己評価)</b> 身体拘束について理解し、拘束していない。 日中は、施設の施錠はしていない。</p> <p><b>(外部評価)</b> 利用者同士が誘い合って外に出かけていくようなケースや、一人で出かけて行き行方不明になり捜索したようなケースがあった。ご家族からは、玄関施錠について要望があったが、管理者は十分な見守りを行うことを説明して理解を得た。現在、転倒、転落防止のためベッド柵を付け、対処している方が3名いる。ご家族に説明して「いいですよ」と言われているようだが、利用者の中には「外してや外してや」と願う方もいるようだ。</p>	<p>さらに、ベッド柵での対処については、利用者の立場に立ち考えてみてほしい。身体拘束について学び、拘束することの弊害も理解して対応策について検討を重ねてほしい。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 1人では対応せず、虐待に繋がらないよう考慮している。決して否定しない声かけをしているが、要望の強い人に対しては、本人と相談して折り合いをつけるなど、防止に努めている。 研修で学んだり、スタッフ間の話し合いをして防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修を受け理解している。 必要になられた時には対応できる準備ができています。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に十分な説明と理解に努め、双方納得して入所いただけるようにしている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 直接家族に意見を聞いている。 家族からの意見は運営に反映させており、家族への文書や運営推進会議の中で報告している。	
			(外部評価) ご家族来訪時には、「希望や気が付くことがあれば言ってください」と声をかけており、現在、ご家族からの要望は多いようだ。「利用者が一日をどのように過ごしているかわからない」というご家族の意見から、事業所たより9月号には、趣味の生け花、芝生のお散歩、おやつ作りや囲碁対局の時間等の写真を載せ、日頃の暮らしの様子を報告した。法人全体で行う「感謝祭」等の行事には、ご家族も参加できるよう案内しており、ご家族同士が交流する機会になっている。入居間もない利用者のご家族の来訪時には、昼食を一緒にできるよう誘っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ユニット会やミーティングで意見交換を行っている。夜間など、施設長と1対1で話しやすい環境になるので、意見を述べやすい。 (外部評価) 1階ユニットでは、この一年間職員同士の連携を図り、一致団結することに力を入れており、レクリエーションや回想法等の取り組みは、どの職員も行うことができるようになったようだ。2階ユニットは、利用者と関わりを持つことを意識して、認知症が重度の方の対応について悩みながら取り組んできたが、職員で対応することの難しさを感じており、離職者等もある。	職員がいきいきと働けるような環境作りに向けて、関係者等とアイデアを出し合い、協力し合って取り組みをすすめていかれてほしい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 時間外手当や会議手当、リフレッシュ休暇等設けて、働きやすい環境になっている。体調が悪い時にはすぐに休めるよう、考慮してある。本人の意向に合わせて勤務の変動に対応もしている。職員同士で助け合い、落ち着いた環境で勤務できている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修には積極的に参加できるよう、機会の確保をしている。新任者には、新任者研修が受けられるよう手配している。委員会活動により、職員1人1人の活躍の場がある。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 近隣のグループホームの行事や運営推進会議には相互に参加して、交流を図っている。協会の相互研修を通じて、他のホームの活動を参考にしたり、サービスの質を向上させる努力をしている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前にカンファレンスを開き、職員間で情報の共有をしている。また、入所後は不安を和らげるように話を聞き、コミュニケーションを図っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> 家族に要望を聞き、職員は共有している。家族との関係づくりを大切にしている。	
17		○初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	<p>(自己評価)</p> 今必要とされる支援について家族や本人と話し合い、適切なサービスが利用できるよう努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<p>(自己評価)</p> 利用者9名と職員の生活に馴染みができて、また信頼関係も築け、積極的に家事をされるようになっている。皆が助け合いながら生活を共にしているし、1人でも不満が出ないように努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<p>(自己評価)</p> 本人の状態の変化や要望など家族へ報告、相談し、今後のことを決めるようにしている。職員間で情報を共有し、家族にもホームの行事に参加してもらい、本人・家族・職員の関係づくりに努めている。面会時には家族にゆっくり部屋で過ごして頂けるよう配慮している。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<p>(自己評価)</p> 自宅を見に行ったり、馴染みの理容室・美容室を継続して利用している。知人の面会もある。病院受診や外食も、家族の協力も得ながらできているため、馴染みの方との交流が図れている。	<p>(外部評価)</p> 敬老会の機会を捉えて、ご家族にお願いして利用者宛てに手紙を書いてもらった。利用者によっては職員が読んで差し上げると、涙を流して喜んだような方もあったようだ。ボランティア散髪を利用している方もあるが、職員やご家族の送迎で馴染みの美容室を利用している方も多い。以前の職業等を活かして、持っている力や得意なことを発揮できるような場面作りに取り組んでいる。みなの前であいさつしてもらったり、習字が得意な方には七夕の短冊に願いごとをみなの方も書いてもらった。

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) レクリエーションや体操を通じて利用者同士交流の場を持ち、会話が弾み、楽しい時間を過ごせるように努めている。以前より利用者同士の会話が増えている。また、男性のための男子会(はまゆうの会)があり、他ホームの男性利用者との交流も増えている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所された方のご家族が運営推進会議に参加して下さったり、退所後も困った時には相談に乗り、フォローしている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の意向を尊重できるよう、できる限り努力している。特に本人の誕生日には、本人の意向通りに過ごせるように努めている。	
			(外部評価) 2階ユニットでは、テーブルでパズル等を行いながら利用者同士の関係を作ったり、職員が利用者に関わる場面を増やせるよう取り組んでいる。知り得た利用者の情報は介護記録に利用者の言葉通り記録し、又、口頭で伝えて共有している。	認知症対応に難しさを感じているようなケースもある。原因を探るアセスメント等についても工夫して取り組み、職員の気づきをケアに活かしてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) できる限り本人から聞き取り、また家族からも話を聞き、共有している。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) センター方式24時間シートに記入し、把握と共有に努めている。生活リズムや心身状態の把握に努め、話し合っている。変化があればその都度、申し送り等により情報を共有している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 毎月モニタリングし、全職員で話し合っ介護計画に繋げている。 介護計画は、話し合いに家族も参加していただいて作成している。</p> <p>(外部評価) 6ヶ月ごとに介護計画を見直すようになっており、ご家族の来訪時を捉えて、支援内容について話し合うようにしている。</p>	<p>ご家族と一緒に利用者を支えられるような介護計画となるよう工夫したり、地域資源等を活用して、利用者がいろいろな人や場所とつながりを持って暮らせるような介護計画作成に工夫してはどうだろうか。</p>
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 24時間シートや健康チェックシート等により情報を共有し、介護計画に繋げている。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 福祉用具の導入や、看取りを支える家族のために食事の提供や、家族が集える環境を整備した。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 多くのボランティアの来所があったり、保育園や小学校、地域の行事に参加できている。 地元の魚屋、肉屋、八百屋、スーパーに来てもらって、地域の資源の活用にも努めると同時に、交流を図っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 本人・家族の意向に合わせて適切な医療を受けられるよう、家族と協力しながら支援している。 協力医の訪問診療が月2回ある。 心強い協力の下、医療機関との連携は十分図れている。</p> <p>(外部評価) 看護職員は、利用者の健康管理や通院介助、キズ手当等をしている。又、隣接する系列事業所の看護職員とも連携しており、不在時には対応してくれている。利用者の状態変化時には、協力医が電話でご家族に状態を説明して、今後の方針を聞いてくれる。</p>	
31		<p>○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 職場内に看護師がいるため、常に相談、報告し、支援にあたっている。 スタッフは命のかかわらない軽微な体調の変化等から気づきや情報を提供して、適切に受診ができるよう支援している。</p>	
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 入院時は情報提供し、本人にも安心してもらえるよう面会に行っている。 退院時はカンファレンスにより、安心してホームに復帰できるよう家族、医療関係者と連携を取っている。</p>	
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 家族や主治医と連携を取りながら、できること・できないことを含め、終末期に向けた方針を共有している。 随時家族の意見を確認しながら、ともに支援に取り組んでいる。</p> <p>(外部評価) この一年間で看取りを支援した事例の中には、遠方に住むご家族と電話でやり取りしながら支援したような事例がある。事業所の2階ユニットは重度化や看取り支援に対応する場所として設置しており、ご家族が泊まる部屋もある。浴槽は、車いすに座った状態でお湯で温まれる気泡発生装置付き特殊浴槽を整備しており、亡くなる数日前までお風呂を利用した方もある。法人代表者が近くに住んでいるため、いざという時や不安な時には付き添ってくれることが職員の安心感につながっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 日常の中で看護職員に教わり、実践に繋がるよう取り組んでいる。 AEDを設置している。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年3回の避難訓練を実施している。 マニュアルによって職員全員が対応できるように取り組んでいる。 地区消防団と連携を取っている。 (外部評価) 防災・リスク委員会の職員が年間計画に沿って避難訓練を計画したり、毎月、コードの埃や足元灯等の点検を行っている。すぐに持ち出せるよう、玄関入口に食料品等の備蓄等を用意している。又、水の備えとしては、受水槽や井戸水があり、いざという時にも利用できる。	事業所の立地条件や利用者の状態等も踏まえて、災害時に地域と協力し合えるような体制作りに向けて取り組みをすすめてほしい。又、事業所の資源を活かして、いざという時に事業所が地域に対して、できることはないだろうか。運営推進会議等を通じて話し合いをすすめてほしい。
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 1人1人の性格を知って、誇りやプライドを傷つけないよう声かけに注意している。 基本的には敬語で対応するが、あまり堅苦しくならないよう配慮し、1人1人に応じた対応を心がけている。 (外部評価) 日々の中で、利用者から買い物や外出の希望があれば、その時々支援している。利用者は希望を言うことが多いようで、日中は、職員の人員を増やして対応している。おやつの中には、飲み物を選んでもらえるような場面を作っている。調査訪問時には、利用者が調理や後片付けにかかわれるようサポートし、後で感謝の言葉をかけていた。大工をしていた方には包丁を研いでもらったり、それぞれに洗濯物たたみや将棋等、役割や楽しみを持てるよう支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 希望などを言いやすい環境づくりを心がけたり、時には自己決定できる状況づくりを心がけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 本人の意思に沿って対応し、本人のペースを大切に、不安のないように過ごせるよう支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 家族が服を持って来てくれたり、同じ服を着ないようおしゃれができる支援をしている。 ボランティア散髪サービスを毎月利用し、希望者には毛染めをホームでしている。 お化粧品をしている方もいるので、続けられるよう支援している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立に沿って一緒に調理の準備をしたり、片づけも率先してされたりと、全員参加型になっている。 好き嫌いを把握し、無理強いせず楽しくおいしく食事ができるよう支援している。 外食やお弁当を設けたり、食事中に音楽を流したりなど、楽しい食事を心がけている。	
			(外部評価) 1階ユニットでは、テーブルごと、又全体でいろいろな内容を話題にしておしゃべりしながら食事をしていた。2階ユニットでは、新たに、野菜や料理のカードを使って食事を楽しみにできるような取り組みを行っている。調査訪問時には、昼食前に、利用者と職員でカードの中からメニューや食材の絵を選んでホワイトボードに貼り、日付とメニューを書いていた。メニューを書くのは利用者の役目になっている。さらに、食事には、デザートを付けて特別感を味わえるよう工夫しており、利用者からは食事について「おいしい」と感想が出るようになったようだ。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量、水分量をチェックしている。 必要に合わせお茶の回数を増やすなど、脱水の予防に努めている。 きざみ食、お粥、トロミ食等、1人1人に合った形で食事の提供を行っている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の歯磨きや義歯洗浄等、口腔内の清潔保持に努めているが、十分でない方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価) トイレでの排泄に努めている。 排泄パターンや本人の習慣等に配慮し、プライバシーにも配慮しながら声かけし、誘導している。 できないことを把握し、必要な部分を支援するようにしている。</p> <p>(外部評価) 男性用トイレが1ヶ所ある。立ち位置の目安になる足型や「一歩前に出ましょう」と貼り紙をしていた。居室内のポータブルトイレを設置している方の中には、ご自分で使いやすい位置にこだわりがあり、床に設置位置のしるしを付けていた。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 水分補給を促し、牛乳やヤクルト、薬を飲むなど、その人に合わせた予防に努めている。 必要に合わせ、散歩等の運動もするようにしている。</p>	
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価) 本人の希望に沿って、日中入浴できるようにしている。 入浴の苦手な利用者には、声かけの仕方や時間を工夫して、ご本人のペースで入浴できるよう支援している。 曜日や時間帯は決めていない。</p> <p>(外部評価) 2日に1回入浴できるよう支援しており、2階ユニットは、全員が気泡発生装置付き特殊浴槽で入浴している。利用者ごとに湯を入れ替え、湯温や湯量等を個々の好みに合わせ支援している。重度のためベッドで長時間過ごすような方は、体調や体力をみて週に1回程度支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 温度や湿度、布団の種類に気を付けて、その時々で対応している。 休みたい時に休んでもらうよう声かけし、居室に誘導している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬の変更やチェックについては情報を共有し、個別に保管している。 担当者が1人1人の服薬を調整し、また服薬時は見守り・確認している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 誕生会や行事などで利用者の気分転換や興味のある日を過ごせるよう支援している。 散歩や外出も多い。 調理、包丁研ぎ、散歩、生け花等、個々の好きなこと、得意分野を生かせるよう努力している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) その日の気分や状態、天候に合わせ、いつでも対応している。 自宅、公園や近所の店への買い物等にでかけている。 地域の行事を見学することもある。 皆で戸外に出かける機会も多い。	
			(外部評価) 1階ユニットは比較的介護度軽度の利用者が多く、庭先に出たり、外出するような機会も多い。2階ユニットの利用者は重度の方が多いが、外出がお好きで歩行ができる数名については、1階ユニットの外出時に一緒に出かけられるよう支援している。ご家族から桜のきれいな場所を教えてもらってお花見に出かけたこともある。利用者が落ち着かないような様子の中には、ご家族が庭に連れ出してくれるようなこともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者からの要望があれば買い物に行き、本人に支払ってもらっている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 携帯やホームの電話で電話できる。 手紙を書く方もおられ、職員が投函している。 また、代筆支援もしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 狭いリビングを気持ちよく暮らせるよう、テーブル等の工夫をしている。 ホールやデッキを利用して、広い空間で活動できる工夫をしており、思い思いの場所で過ごすことが多い。 季節を感じる作品を一緒に作成し、掲示している。</p> <p>(外部評価) 職員が生花を用意すると、利用者が玄関に活けてくれる。建物1階の地域交流スペースや敷地内の芝生の広場で、いつもと雰囲気を変えてお茶を楽しむような機会を作っている。クロスを敷き、利用者は手作りお菓子と飲み物等を楽しんでいる。2ヶ月毎に図書館で本や紙芝居を借りており、廊下にコーナーを作り、好きな本を選んで読めるようにしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 座席の配慮やソファを置くことで自由に過ごせる場所の工夫をしている。 ホールのソファに座って、ゆったりされている方もいる。</p>	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 本人に馴染みのもの(鏡台、パッチワーク暖簾、仏壇、テレビ、椅子、ソファ等)を揃えられ、自宅に近い生活空間で暮らすことができている。</p> <p>(外部評価) 1階ユニットは自室の掃出し窓からデッキに出られるようになっている。将棋がお好きな方は、将棋の対戦記事を楽しみにご自分用の新聞を取っており、自室でじっくりと楽しんでいる。昼食後には、自室の洗面台で、いすに座って口をゆすいたり、鏡を見ながら髪を梳いている方が見られた。ご自宅からお位牌を持って来られている方には、お盆やお彼岸が近くなると、事業所でしきびを用意して一緒に供えるようにしている。手を合わせに訪れるご家族もあるようだ。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>(自己評価) トイレ、風呂場などがわかりやすいよう、看板や文字で表示している。 段差も限りなく少なく、昼間も廊下の電気をつけておくなど、安全な環境づくりに努めている。</p>	